



2000～2001

# 安満ガバナー公式訪問報告書

2000. 9. 27

CREATE AWARENESS TAKE ACTION

意識を喚起し 進んで行動を

会長 山元正明

幹事 川平建次郎

鹿児島西ロータリークラブ



# 鹿児島西ロータリークラブ・ガバナー公式訪問スケジュール

〈2000年9月27日(水)〉

ガバナー 安満 良明 様

ガバナー補佐 海江田 卓 様

(1) 11:00~12:00

会長・幹事・会長エレクト(副会長)との協議 (山形屋・7F・フェニックス)

(2) 12:00~12:30

新人会員との懇談会 (山形屋・7F・フェニックス)

(3) 12:30~13:30

例会公式訪問 (山形屋・7F・社交室)

① 点 鐘.....会 長

② ロータリーソング斉唱

③ 会長挨拶.....会 長

ガバナー紹介, ガバナー補佐紹介

ゲスト, ビジター紹介

④ 会務報告.....幹 事

⑤ 出席報告.....出席委員会

⑥ ニコニコBOX報告.....親睦委員会

⑦ ガバナーアドレス.....ガバナー

⑧ クラブバナー贈呈.....会 長

⑨ 点 鐘.....会 長

(4) 13:30~13:50

写真撮影 (山形屋・7F・社交室)

(5) 14:00~16:00

クラブ協議会 (山形屋・7F・社交室)

# 会 長 報 告

会長 山 元 正 明

## ◎クラブ運営基本方針、概況報告

我がクラブは、今年創立38周年を迎えましたが、ロータリーの原点を見つめ、フランク・J・デブリンRI会長の示されたテーマ「意識を喚起し、進んで行動を」を常に念頭に置いて、前進のための変化を恐れず、ロータリーの綱領に示されている奉仕の理想に一步でも近づく努力を続けることと、ロータリアンの専門知識の道徳的水準を高めて、その業務の品位有るものとする努力をして行きたいと思う。併せて会員の親睦と友愛、退会防止、会員増強をはかり、クラブのより一層の発展を方針とする。

### 【計画事項と概況報告】

1. 内部充実の為に、楽しい例会と内容の充実を図る。  
クラブの活性化は先ずクラブ例会から始まると思うが、それにはホームクラブの例会出席率に現れると思う。そこで本年度のホームクラブの出席率は、7月の平均が65.55% 8月の平均が68.58%と少しではあるが向上が見られる。  
更なる向上には、
    - a. 先ず会長の挨拶に始まり、例会内容の楽しさ、卓話の魅力など充実した例会を心がけている。
    - b. 座席配置の工夫、特に新入会員との交流交友が良く図れるように工夫する。  
現在は特に例会席で会長との接触交友の機会が極めて少ないので善処したい。
    - c. 例会での行事が委員長や会員に重荷にならないように、楽しく参加できる内容の工夫をする。
  2. 会員増強は増強委員会だけでなく全員が心がけて、新年度7月1日は会員総数が95名であったが、8月末98名となり、9月は更に入会予定者がいるので最終的には会員増強10名程度を目標としている。各委員会委員長始め、全員が増強に熱心に努力している。退会者が出ないように、出席率の良い会員に、良く意見を聞き、退会を決意される前に翻意をはかる努力をする。
  4. 新世代育成は目下の急務であるが、最近の非行凶悪少年増加の防止には、我々中高年者の道徳的な行動等で模範を示す事。若者に体育的な目標を見つけさせる事、人間の官能を生かした物づくりへの興味の奨励行事等の策定。
  5. ロータリーの奉仕の活動の充実は、先ず会員個人の専門職務の遂行が奉仕活動の第一歩と認識して、他の奉仕活動への輪を広げてゆきたい。
  6. 会員の親睦と和と友愛の輪を広げたい。
    - a. 月1回の学習会、 b. 各奉仕月間にちなんだ卓話、 c. インフォーマルミーティングや各種の懇親懇談会、 d. 各委員会の相互の交流連絡を密にする。
  7. 財団への協力、年次一人110ドル、米山記念奨学会へ1万円を目標に努力。
  8. 2000年度の産業革命とも呼ばれるIT革命に関連した行動の具体化。  
中高年者、高齢者でも面白く扱えるパソコン教室などの開講と利用等。
- ◎現在の概況報告は、幹事報告に具体的に記載されているから重複を避ける。

## 幹事報告（クラブ概況報告）

幹事 川平 建次郎

入会16年目の幹事である。新年度が始まったばかりであるが、委員会は、特段の意識をもって対処しようとしている各委員長を軸に、それぞれが強力に活動を始動し、着実にスケジュールをこなしているところである。ただ、創立40周年を2年後に控え、また、2年後の地区ガバナー候補者を出し、古木圭介会員の副会長辞任と鹿児島市長選挙出馬など、慌ただしく時が流れている。

何はともあれ、今年度の目標を具体的に報告する。

1. 海江田ガバナー補佐（鹿児島市内分区）のバックアップ体制作り。
2. 増強関連各委員会の努力による、年度末退会者の補強と増強ならびに退会防止。
3. SAAと親睦委員会の協力体制による例会場の雰囲気作り。
4. 情報委員会の主催する「学習会」による内部充実と活性化。
5. 新世代育成関連の各委員会の年次計画の準備。
6. 社会奉仕委員会が毎回出席するプロバスクラブの更なる活性化。
7. 国際奉仕委員会主導によるGSE受け入れ体制作り。
8. 米山奨学生へのバックアップ。
9. 財団および米山への寄付の奨励。
10. 当クラブ提唱により設立された加世田RCとの交流。
11. コンピューターの活用と会員教育の実施。等々

実務支援者である幹事としては微力ながら、各委員会の活動がクラブ全員の活動として結実するように、全会員の活力を支援できればと考えている。会員が直接活動に関与することが、退会防止に最も有効であるものとする。



## 2000. 7. 1～2000. 9. 13 会員移動状況

会 員 名	入 退 会 日	委 員 会 名	会 員 数
橋 元 忠 也	2000. 7. 5 入 会	親 睦 委 員 会	9 6 名
町 田 猛	2000. 8. 9 入 会	職 業 奉 仕 委 員 会	9 7 名
井 倉 潤	2000. 8. 9 入 会	親 睦 委 員 会	9 8 名
本 田 亨	2000. 8. 31 退 会	転 居	9 7 名
森 俊 英	2000. 9. 6 入 会	親 睦 委 員 会	9 8 名

## 2000. 7. 1～2000. 9. 13 例会プログラム実績

7 月	5	第 1 8 4 9 回	クラブ協議会 (方針・計画)
	1 2	第 1 8 5 0 回	会員卓話 (山元正明会長) 演題: 終戦秘話, 国産ロケット「秋水」
	1 9	第 1 8 5 1 回	インフォーマルミーティング テ ー マ: ロータリーの4大奉仕について 4グループのグループ別討論 リーダー: 若松喜八郎・社会奉仕委員長 田崎 一郎・職業奉仕委員長 福元 紳一・新世代委員長 長柄 英男・国際奉仕委員長
	2 6	第 1 8 5 2 回	会員卓話 (坂元明雄会員) 演題: 「煙草の話」
8 月	2	第 1 8 5 3 回	クラブ協議会 (決算・予算)
	9	第 1 8 5 4 回	クラブフォーラム (会員増強委員会)
	1 6		休会 (お盆)
	2 3	第 1 8 5 5 回	会員卓話 (染川周郎会員) 演題: 「平成徳政令? 民事再生法について」
	3 0	第 1 8 5 6 回	全員卓話 (進行・徳留忠敬プログラム委員長) テーマ: 青少年問題 テーマに関するフリートーク
9 月	9	第 1 8 5 7 回	クラブフォーラム (新世代委員会)
	1 3	第 1 8 5 8 回	観月会 (親睦委員会・サンロイヤルホテル) 加世田RCとの合同懇親会を兼ねる

## 出 席 状 況

年 月	ホームクラブ出席率 (%)	訂正出席率 (%)
平成12年7月	6 5 . 5 6	9 2 . 7 8
8月		

## 行事・会議実施状況（理事会等）

開催日	会 議 等 の 名 称
7 月	3 第261回・R学習会（R情報委員会） テ ー マ：①識字率向上月間にちなんで ②R I会長テーマに関して リーダ－：須田正巳・R情報委員長 古木圭介・副会長 アドバイザー：山元正明会長 川平建次郎幹事
	6 第577回・RAC例会
	12 定例理事会 決算・予算の審議等13件
	13 第31回・PBC例会
	18 第578回・RAC例会
	26 会長経験者会 地区ガバナー候補の推薦に関する審議
	29 インターアクト年次大会 （県立青少年研修センター）
8 月	30 臨時理事会 地区ガバナー候補の推薦に関する審議
	2 第579回・RAC例会
	3 市内RC会長・幹事会
	5 ロータリー情報委員長会議 須田委員長
	7 第262回・R学習会（R情報委員会） テ ー マ：会員増強・拡大月間にちなんで リーダ－：江夏 洋・R情報副委員長 榎田浩典・会員増強委員長 アドバイザー：坂元明雄職業分類委員長
	9 定例理事会 地区大会の登録等に関する審議等3件
	11 国際奉仕委員長会議 長柄委員長
	19 会員増強委員長会議 榎田委員長
	23 臨時理事会 入会申込の審議等7件
	23 加世田RC訪問 「9月13日の観月会参加のお誘い」と「懇談会」
	24 ロータリー・ローターアクト・プロバス・合同懇親会 （サンロイヤルホテル） 第580回・RAC例会 第32回・PBC例会
9 月	4 第263回・R学習会（R情報委員会） テ ー マ：新世代のための月間にちなんで リーダ－：南 徹・地区GSE委員・R情報委員 福元紳一・新世代委員長 アドバイザー：天本美信・RA委員長 樋渡良一・IA委員長
	5 クラブ内ゴルフコンペ（親睦委員会） 鹿児島ゴルフクラブ／レクストンイン鹿児島
	6 定例理事会 古木圭介副会長の副会長辞任の申し出に関する審議等6件
	7 第581回・RAC例会
	13 観月会（親睦委員会・加世田RCとの合同例会） サンロイヤルホテル

## 各委員会報告

### クラブ奉仕委員会

委員長：竹下 威

委員：(副)川平建次郎, 榎田 浩典, 水流 洋, 坂元 明雄  
正 建二郎, 板木 泰文, 須田 正己, 庵木 英雄  
徳留 忠敬, 桐明桂一郎

#### 基本方針

クラブ奉仕は、クラブ奉仕関係の各委員会の事業がスムーズに選ぶための調整を行い、すべての行事のバックアップをすることを旨とする。

#### 本年度の計画

1. 委員間の意志疎通をはかるため、随時委員会を開催する。
2. 当クラブの誇りである良い雰囲気を保ち、会員相互の親睦を推進できるようバックアップする。
3. 新入会員への確かな情報を伝達し、さらに友情を深めるよう努める。
4. 退会者のいないクラブ運営に努める。

#### 活動実績

各委員長と協議し、各々の活動がスムーズに運んでいるかをチェックした。  
その結果、2ヶ月間、順調に運営されていることが確認された。

## 会員増強委員会

委員長：榎田 浩典

委員：(副)竹下 洋, 池口 恵観, 高山 義則, 藤安 秀一

#### 基本方針

クラブの円滑な運営、活性化と向上発展のため、会員選考・職業分類の両委員会と連携を保ちながら、年齢的・職業的なバランスにも留意し、積極的な会員増強に努める。

#### 本年度の計画

1. 転勤・退会等を考え10%程度の会員増強を目指す。
2. 特に未充填職業分類の会員増強を計る。
3. 会員の皆様に会員ご推薦のご協力をお願いしたい。

#### 活動実績

今期、7月1日会員数95名にてスタートし、7月5日1名、8月9日2名の入会式を終了。

さらに3名の会員候補者の推せんがあり、理事会並びに会員選考委員会の承認を得て、9月中の入会予定です。

8月31日に1名の退会者がありましたので、12年9月末、会員数は100名となる見込みです。



## 会 員 選 考 委 員 会

委員長：水 流 洋

委員：(副) 諏訪園 隆, 高井 敏治, 古木 圭介

### 基 本 方 針

会員の選考については下記の点に留意する

1. 社会人として常識的バランス感覚をもつ人で、クラブ会員として適格性と社会的地位の評判が良いこと。
2. 奉仕の精神にあふれ、積極的に奉仕活動をすること。

### 本 年 度 の 計 画

職業分類、会員増強の各委員会と連絡を密にしてすぐれた会員の増強に努めたい。

### 活 動 実 績

今期95名で発足、会員増強委員会より新規6名の入会推せんがあり、会員選考委員会としては、職業分類委員会とも協議の上、委員会の基本方針にのっとり、選考し、推薦した。

## 職 業 分 類 委 員 会

委員長：坂 元 明 雄

委員：(副)：山下 皓三, 福田 正臣

### 基 本 方 針

地域社会の職業分類について調査し、これに対する充填並びに未充填職業の分類表を作成して職業分類上からみた会員構成の改善点を検討する。

### 本 年 度 の 計 画

- 1) 地域社会の職業分類とこれに対する充填並びに未充填の分類表を作成する。
- 2) バランスのとれた会員構成を目標にクラブ奉仕、会員増強、会員選考の各委員会と協力し、未充填職業の会員獲得に努力する。

### 活 動 実 績

- 1) 地域社会の職業分類とこれに対する充填並びに未充填の分類表を作成して、職業分類上からみた会員構成の改善点を検討している。
- 2) バランスのとれた会員構成を目標に、クラブ奉仕、会員増強、会員選考の各委員会と協力し、未充填職業の会員獲得に努力しつつある。

## 出席委員会

委員長：正 建二郎

委員：(副) 中村 英幸, 小園 正人, 中嶋 健, 桜美 義明  
片平 可也

### 基本方針

クラブ会員は例会に出席する事が、会員の基本であり、そこから会員としての活動が始まる。出席率の向上を計り、クラブ例会の欠席に対してはメイクアップするよう奨励する。

### 本年度の計画

- 1) 出席率が落ちた場合例会出席率発表の都度出席やメイクアップを奨励する。
- 1) 長期欠席者には連絡をとり、欠席の理由を聞き対策を幹事に供にとる。

### 活動実績

例会の出席率の向上をめざし、例会当日の出席者人数と、二週間前の訂正出席数を発表します。例会場正面に出席標語を掲示する。出席率の悪い人に幹事出席委員共同で出席率の向上をうながす。

新入会員ヘロータリーは出席が義務である事を認識してもらう。

## 親睦委員会

委員長：板 木 泰 文

委員：(副) 深尾 兼好, 村田 和雄, 福田 一郎, 山田 晴彬  
銚之原大助, 山本 広明, 鮫島 信一, 三宅 一男, 西川 明寛  
串間新一郎, 大山 康成, 池田 千明, 福島 徹郎, 橋元 忠也  
井倉 潤, 森 俊英

### 基本方針

会員相互の親睦をはかることをまず第一の方針とし、特に経験豊富な先輩会員方と若い会員との交流の場を増やしたいと共にビジター、ゲストや来訪者に好感のもてるクラブに努めたい。

### 本年度の計画

1. 観月会, クリスマス家族会を含む参睦会を年4回とする。(すこし趣向をこらしたい。)
2. 有志によるゴルフコンペの実施(年一度は平日を予定しその時はパーティーは夜行なう。)
3. ニコニコBOXの件数を増やし、クラブの活性化に貢献したい。
4. 有志による夜の親睦会を年に1~2回もうけたい。

## 活動実績

- 1 SAAと合同で引継ぎを兼ねた、打合せ懇親会を開催した。
- 2 例会受付及びニコニコBOXの披露等委員全員で協力し、例会の場を盛り上げる様心がけている。
- 3 クラブ内ゴルフコンペを（山元杯）を開催した。
- 4 米山奨学生と指導教官、プロバスクラブの有志及び加世田RCを招き、親睦会（観月会）を開催した。

## ロータリー情報委員会

委員長：須田正己

委員：（副）江夏洋、海江田卓、南徹、大平重隆

### 基本方針

1. 会員特に新入会員に、会員の特典と責務に関する情報を提供し、会員が適切な理解をして、早期にクラブに馴染まれるようにする。
2. 会員に、国際ロータリーの歴史、綱領、活動等各方面に関する情報を提供する。
3. 月例学習会の充実を図る。

### 本年度の計画

1. 会員候補者の推薦者・会員増強委員会・会員選考委員会・職業分類委員会等、入会に関する各委員会及び幹事のご協力をいただきながら、新会員に対し、個別的に、「入会時オリエンテーション」を実施する。
2. 年間少なくとも二回、新入会員を対象にして、各委員長及び幹事のご協力をいただき、「新入会員との懇談会」を実施する。
3. 会員及び新入会員を対象にして、毎月第一月曜日午後6時30分～8時30分の間に「月例学習会」を実施する。

## 活動実績

基本方針・計画とも、順調に達成していると思われる。

現在、3名の新入会員に対して、個別のオリエンテーションを行い、学習会等への参加も、100%です。

10月中旬には、新入会員と各委員長の懇談会を予定している。又、学習会も20名平均の出席を頂き、討論が行われている。

## 会報・雑誌委員会

委員長：庵木 英雄

委員：(副)加藤 一徳, 三角桂次郎, 中村 一雄, 原田 隼男

### 基本方針

1. 毎週例会ごとクラブ週報を発行しクラブ内外の情報を伝達する。特にトピックス的なことに注目する。
2. ロータリーの友・ガバナー月信とともに情報伝達, 会員教化の資料として積極的な愛読を奨励する。
3. クラブの全体的な活動状況など記録として残すようにする。

### 本年度の計画

1. 週報の内容充実に努力する。(項目見直し)
2. 各委員会との情報連絡を密にし短信欄で流す。
3. ロータリーの友・ガバナー月信の特に会務として大事と思われる記事は適宜紹介する。
4. インターネット導入準備(回線加入, ホームページ原稿作成, 予算化=基本料金+通話料)

### 活動実績

1. 計画書に基づき, 週報の確実な出稿
2. インターネット導入準備(引込線工事, 過去データの打込み)  
会報委員会でどこまでやるか問題点であるが, 着手は当委員会とします。

## プログラム委員会

委員長：徳 留 忠 敬

委員：(副)有馬 戦男, 岩元 紀彦, 田中 寛吉, 松田 健一

### 基本方針

時代に即応した幅広い話題を提供できるテーマと講師の選定に努め, クラブ例会の活性化に資する。

### 本年度の計画

1. 幅広い話題(面白い, ためになる, 元気がでる)を提供する。
2. 「ロータリーのテーマ」に沿った情報を提供する。
3. なるべく多くの会員に卓話の機会を設ける。

## 活動実績

当委員会の役割 クラブ例会活性化の一助となる

テーマの基本 興味が湧く、為になる、実践力がつく

既に2回委員会（5名）を開き、委員5名のコミュニケーションを深めながら卓話者（ゲスト、会員）について情報交換意見交換をして卓話者を決めている。

特にクラブ例会で会員に活動するチャンスを1人でも多く設け、クラブ例会に出席する喜びと当クラブへの帰属意識を深めていただくことが大事なことと考えて、会員卓話を多く設けていきます。

## 広 報 委 員 会

委員長：桐 明 桂一郎

委員：（副）坂木 貞剛、太原 春雄、染川 周郎

### 基本方針

ロータリーの理念や活動目的を理解して支援をいただくために、地域の報道機関やマスコミの協力のもとに広報を囲っていく。

### 本年度の計画

- ① 地域の報道機関との懇談会や定期的なニュースソースの提供などを通じ、ロータリーの存在、活動内容への理解を深めてもらう。
- ② ニュース性のある話題を積極的に提供するため、情報収集などの面での会員各位の協力を呼びかけていく。

### 活動実績

- ① ロータリー活動への理解を県民の間に広めることが、先決との認識に立って広報を進める。そのためには報道機関の協力が不可欠。9月中に地元マスコミとの懇談会を開き、意見交換を行う。
- ② 日常的に、西ロータリーの活動や各会員の話題など広報資料を報道機関に流し、ニュースとし、取り上げてもらうよう努力する。

## S A A 委 員 会

委員長：岩 切 豊

委 員：(副)小田代憲一、秋月 宗近

### 基 本 方 針

例会場としての気品を保ち、例会が秩序正しく運営されるよう努めると共に、会員間の親睦が図れ、ゲストやビジターにも満足していただける設営に心掛ける。

### 本年度の計画

1. 定刻開始・終了の時間厳守
2. 卓話中の私語の禁止、携帯電話等の自粛などマナー向上に努める。
3. ゲスト、ビジターの送迎に心を配る。
4. 会員間のより一層の親睦のため、設営に工夫を凝らす。

### 活 動 実 績

1. 時間厳守は会員の協力の基、良好に運営されています。
2. 携帯電話はマナーモード等の活用を、お願いいたします。
3. ゲスト、ビジターの送迎等、親睦委員の協力で良好です。
4. 新入会員との親睦のため、より一層の工夫を凝らそうと思えます。

## 職 業 奉 仕 委 員 会

委員長：田 崎 一 郎

委 員：(副)山下 健、岩男 秀彦、松田 忠臣、中園 雅治  
町田 猛

### 基 本 方 針

会員各自が自己の職業に誇りと自覚を持つとともに、他の会員の職業に対する、理解と認識を深め、各会員及びクラブがそれぞれの職業を通じて奉仕を日常的活動として実践し、地域社会に貢献することを基本方針とする。

### 本年度の計画

1. 職業奉仕の認識を高めることを目標に基本方針である「職業宣言」を例会場に掲示する。
2. ボランティア委員会と協力し、会員個人ならびにロータリークラブとしてのボランティア活動に取組めるよう推進する。
3. 職業訪問を10月に実施する。
4. クラブ会員の推薦を受け、隠れた優良従業員の表彰を行う。



5. 新世代委員会と協力してインターアクト高校における職業選択フォーラムを計画している。
6. 四つのテスト唱和の実施
7. クラブ会員それぞれ職業奉仕の実態や認識理解する機会を設けたい。
8. 地域ボランティア団体の活動内容の充実を計りたい。

#### 活動実績

1. 四つのテストの唱和は毎月、最終の例会で実施しております。
2. 10月18日にNTTへの職場訪問と優良従業員の表彰を計画しております。
3. 他の計画については、順次目標通りに実行致します。

### ボランティア委員会

委員長：玉 利 賢 介

委員：(副) 藤 裕己, 竹下 洋, 諏訪園 隆, 山下 皓三  
中村 英幸, 深尾 兼好, 江夏 洋, 加藤 一徳  
有馬 戦男, 坂木 貞剛, 山下 健, 川畑 宏二  
有村 仁志, 濱田 悦郎, 江口 清隆, 菅 富男  
須田 正己, 田崎 一郎

#### 基本方針

1. ロータリーのモットーである「超我の奉仕」の精神を喚起しボランティア活動をとおして、地域社会に奉仕する。
1. 職業奉仕委員会・社会奉仕委員会など各委員会と協力しながら、奉仕活動をする。

#### 本年度の計画

1. ボランティア活動について理解と啓蒙（学習会）を行う。
1. 各会員のボランティア活動について、アンケート調査を行い、ロータリアンの広範囲な技能を活した、活動を推進する。そして実行したい。

#### 活動実績

活動実績は9月までありません。

後期に職業奉仕、社会奉仕委員会と話し合いをもって計画実行したいと思っております。

昨年は鹿児島市心身障害者総合福祉センターに行き、子供達の仕事を手伝い会話がはずみ楽しい1日を過ごしました。

今年度もより多くのロータリアンの参加を求めて計画したいと思っております。

# 社会奉仕委員会

委員長：若松喜八郎

委員（副）池田勝一郎、小山幸義、田畑勇

## 基本方針

先社会奉仕部門のプログラムである、人間尊重・環境保全・協同奉仕・地域発展に対し我がクラブとして望ましい活動、又、地域社会のニーズに合致した奉仕活動を模索し、出来ることを無理なく支援すべく努力する。

## 本年度の計画

1. 継続プログラムは従来通り実行する。

①ロータリー賞

社会奉仕実践者に対して「ロータリー賞」を贈る。

②社会福祉施設「ゆうかり学園」の訪問。

③西駅前清掃（RACと協同）

2. 他のプログラム

プロバスクラブと協同で各種施設の訪問。高齢者を支える交流会や創作展、あるいは福祉サービス・ボランティアなどについて何を協力出来るかを探る。

## 活動実績

8月24日 プロバスクラブ、ローターアクトクラブとの合同例会、及び懇親会を実施

# 新世代委員会

委員長：福元紳一

委員：（副）川畑宏二、岩田泰一、藤川毅

## 基本方針

自己責任型社会において指導者たり得る青少年の育成に努めたい。

## 本年度の計画

平成13年春に予定されている「第5回新世代のためのロータリー会議」のホストクラブになりますので、皆様の御協力を得て会議を成功させたいと思います。

## 活動実績

昨年度は、ライラホストクラブとして、今年5月に開催された「青少年指導者養成研修会」を成功させましたが、本年度は平成13年5月ごろに開催される予定の「新世代のた

めのロータリー会議」のホストクラブになっていますので、学習会における別掲のような議論などを通じて、この会議を意義あるものにしたいと計画しているところです。

9月は「新世代のための月間」です。そして、当クラブは平成13年5月頃に開催が予定されている「新世代のためのロータリー会議」のホストクラブに決まっています。そこで、9月4日に開催された学習会においては、現代の青少年が抱える問題点とその解決のためにロータリアンができることなどに関して活発な意見が交わされました。

まず、現代の青少年が抱える問題点については、徳育の不足によって我慢のできない子供達が非常に増えているなどの指摘がなされたのに対し、いつの時代でも年長者から見れば若者は得体の知れない存在であり、現代の若者のみが特に変わっているとは実感できないのであって、ごく一部の若者の例外的な行動から現代の若者が一般的に大きな問題を抱えているように考えるのは間違っているのではないかなどの意見が出されました。また、青少年を育てる父母の教育こそが問題であり、問題のある父母に限って社会教育に参加しないので、親はどうあるべきかということや学校においてしっかり教育すべきであるとの意見もありました。

さらに、青少年のためにロータリアンができることは何かという点については、ロータリアンは原則として一業種から一名選ばれた職業代表という性格を有しているのであるから、各会員が仕事の様々な場面において若者をどのような観点から評価しているかということや、仕事の過程で若者の育成に成功または失敗した具体的な事例を話してあげることがロータリアンらしい活動であり、一般的・抽象的に青少年の問題点と対策を論じても高い評価は得られないのではないかという意見が強く出されました。

これらの意見を充分参考にさせていただいたうえで、来年開催される「新世代のためのロータリー会議」を意義あるものにしたいと考えております。

以上

## ローターアクト委員会

委員長：天本美信

委員：(副)有村仁志、野添良隆、日高好久、瀬戸口良一

### 基本方針

- ①地域に密着した社会奉仕活動の推進をはかる。
- ②ローターアクトの自主的活動への参画。
- ①・②への適切な助言及び、協力をはかると共に、多くのロータリアンと共に社会奉仕活動を行う。

## 本年度の計画

- ローターアクトクラブの計画に添い、研修・社会奉仕活動への参加と協力を行う。
  - ・月2回の例会
  - ・西駅前広場の清掃
  - ・愛の聖母園訪問
  - ・研修会及び他のローターアクトとの交流
  - ・チャリティーバザー等
- 会員増強への積極的な協力を図る。

## 活動実績

- ・8月24日プロバスクラブ・ロータリークラブ・ローターアクトクラブの3クラブ合同例会と親睦会を開催致しました。
- ・9月23日に市内のローターアクトクラブ主催のチャリティーバザーをいづろドームで開催致しますので、現在は準備の為はりきって活動しています。

## インターアクト委員会

委員長：樋 渡 良 一

委 員：(副) 濱田 悦郎, 木治屋克己, 上原 満

## 基本方針

インターアクト会員が積極的に参加する活動を支援する。会員並びに指導教師との話し合いの場をもち、相互理解を深め、青少年が将来社会の一員となることへの期待と自覚をもつ活動を推進する。

## 本年度の計画

1. インターアクト年次大会への参加。
2. インターアクトクラブ協議会への参加
3. 職業選択フォーラムを開催する。

## 活動実績

1. 第36回インターアクト年次大会 参加 協力
2. 顧問教諭との情報交換
3. 職業フォーラムの準備
4. 日程の調整

## 国際奉仕委員会

委員長：長柄 英男

委員：(副) 江口 清隆, 玉川 哲生, 大浦 教一, 藤井 洋三

### 基本方針

ロータリー活動を通じて国際理解と親善を推進し、国際平和に寄与する。

### 本年度の計画

- 1) サンタローザ友好協会の主催する青少年プログラムに協力する。
- 2) 南会員を団長としてメキシコに派遣されるGSEに協力する。
- 3) 鹿児島在住外国人、留学生、ボランティア活動家を招待し、国際親善や交流のあり方などのついて紹介していただく。

### 活動実績

- (1) 毎年、米国カルフォルニア州サンタローザ市サンライズRCとの青少年交換プログラムを行っている。サンタローザ協会との共同で行われており、今年も当クラブのスポンサーで2名の高校生が派遣された。
- (2) 昨年は南委員長がGSEのリーダーとしてメキシコへ派遣され大変活発な年度となった。今年度はホームステイと歓送会を担当することになり現在準備中である。

## ロータリー財団委員会

委員長：前田 樹一郎

委員：(副) 菅 富男, 森永 茂樹, 和田 武弘

### 基本方針

ロータリー財団に関する情報を広め、設立された目的及び活動状況を理解してもらい、財団への認識をさらに深めてもらう。

### 本年度の計画

ポールハリスフェロー、準フェロー、ベネファクターの増加に努める。

### 活動実績

先般、9月4日に第一回の委員会を開き、次のことを確認いたしました。

1. ロータリー財団の目的と活動状況を会員によく理解してもらう。
2. ポール・ハリスフェロー12名、マルチプル・フェロー1名、ベネファクター2名の確保を目標に努力する。
3. 年10～12回 100万\$の食事会を実施する。

# 米山記念奨学会委員会

委員長：須田正己

委員：(副)川平建次郎, 佐伯壽郎, 水淵清治, 三反田藤男

## 基本方針

1. 一昨年までは、わがクラブにおいて米山奨学会関係の作業を副幹事、ロータリー財団委員会、国際奉仕委員会等が分担していた。
2. 地区には、「米山記念奨学会委員会」と「米山募金委員会」があるが、わがクラブには、「米山記念奨学会委員会」のみである。
3. 委員会の任務は、「ロータリー米山記念奨学学生の世話」と「財団法人・ロータリー米山記念奨学会への資金提供、即ち、クラブ会員への寄付の奨励」である。

## 本年度の計画

1. 「米山募金」は、昨年度に引き続きクラブ会長の重点指導項目である。
2. 馴染みの薄い「米山」に関する情報を、可能な限り、クラブ各員各位に紹介する。
3. 寄付には「普通寄付」と「特別寄付」がある。「普通寄付」にわがクラブにおいては、一人当たり年額2,000円として、半期毎に年額の半額を送付している。  
「普通寄付」以外が「特別寄付」であり、クラブ会員あるいは会員外から寄付されるものである。
4. 「特別寄付」は、あくまでも自主的な行為であるが、委員会としては、目標を定めて、「特別寄付」を奨励する。
5. 本年度は、奨学生 李孟賢君の世話クラブとして担当します。

## 活動実績

本年度は中国から鹿児島大学に留学している李孟賢君の世話クラブとして担当しています。毎月第1回例会に出席してもらい、奨学金を手渡しています。